

はままつ

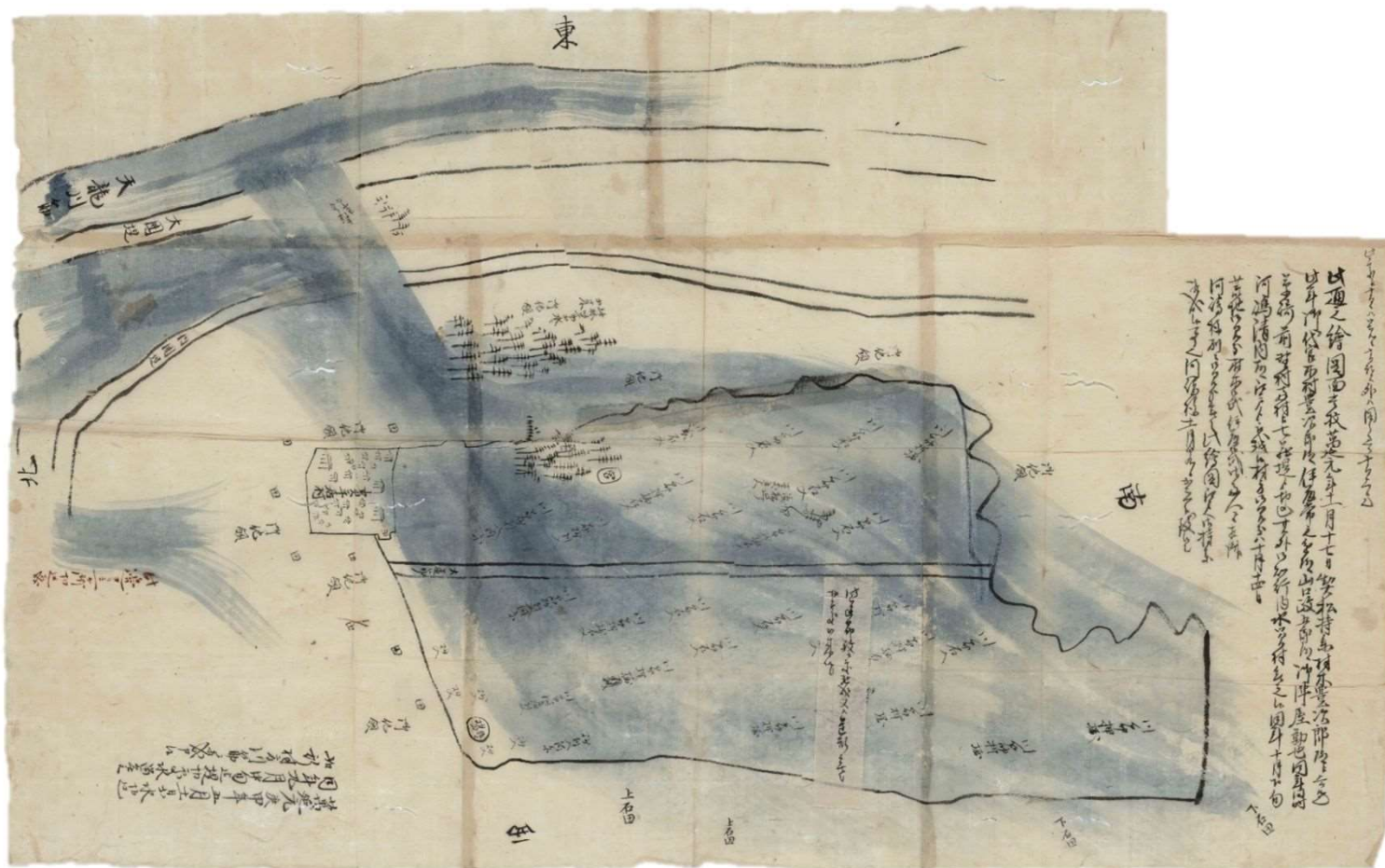
図書館 だより

10月号

vol.236

令和8年9月25日
浜松市立図書館

特集 「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」 —江戸時代の洪水の記録—



きへいむらえず

▲貴平村絵図

万延元年（1860）の天竜川の洪水の状況が記されています。大囲堤と内囲堤を越えて貴平村（現・中央区貴平町、常光町、恒武町、流通元町）へと押し寄せる水流と北側から押し寄せる水流が水色で描かれます。また、絵図中央付近の貼紙の下には「このあたりりゅうかすうじゅっけん此辺流家数拾軒」と記されており、多くの家が流されたこともわかります。



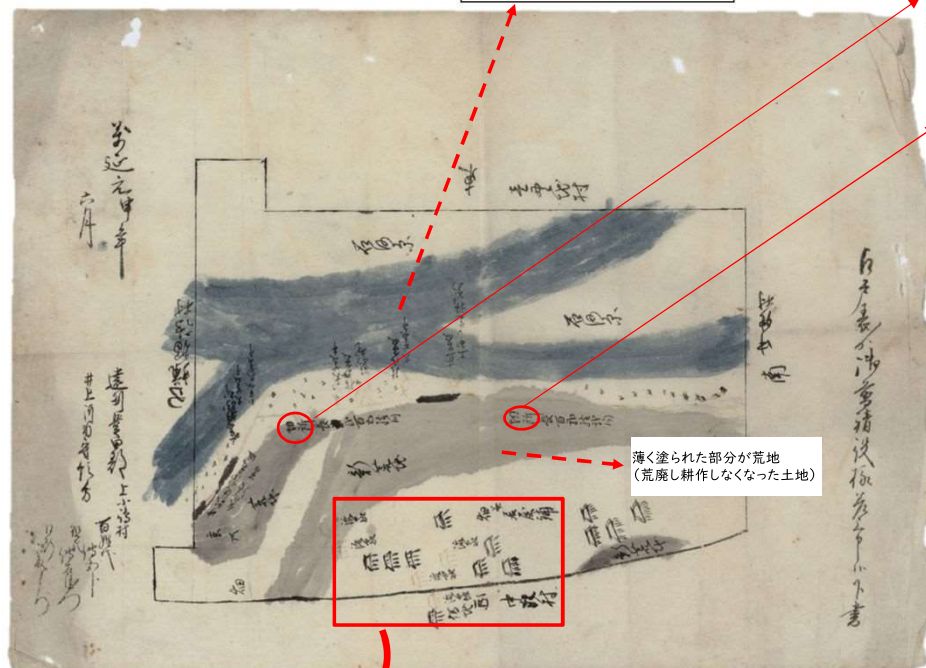
デジタルアーカイブで
ご覧いただけます

浜松市文化遺産デジタルアーカイブ 江戸時代の洪水の記録

天竜川の洪水

江戸時代、天竜川流域の村々は度重なる洪水に悩まされました。こうした洪水の状況を記録した絵図や古文書が残されており、浜松市文化遺産デジタルアーカイブにてご覧いただけます。

濃く塗られた部分が天竜川の流路



薄く塗られた部分が荒地
(荒廃し耕作しなくなった土地)

切所

切所

▲上小島村絵図

かみこじまむらえず

この絵図は、江戸時代の終わり頃の上小島村（現・浜名区中瀬）の洪水被害を記しています。絵図下側（四角に囲ったところ）をみると「流家」という表現で天竜川の洪水で流された家が表示されています。また、天竜川との境に設けられた堤には、「切所」（丸く囲ったところ）と記され、洪水によって堤が押し切られたことがわかります。

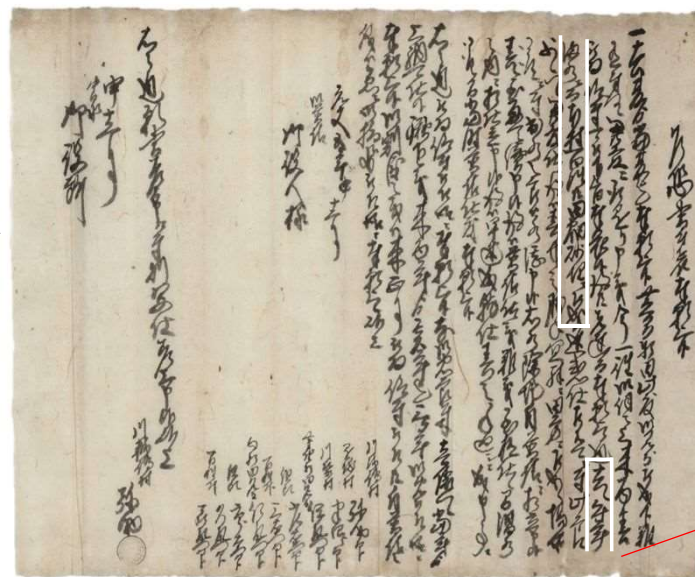


デジタルアーカイブで
ご覧いただけます



文字にのこる洪水被害

おそれながら かきつけをもって ねがいあげ たてまつりそうろう
▼乍恐書付を以奉願上候



デジタルアーカイブで
ご覧いただけます

まんすいにて、ほんさんひやくしうども たはたすなうめになされ
満水にて、本村百姓共田畑砂埋ニ被レ成

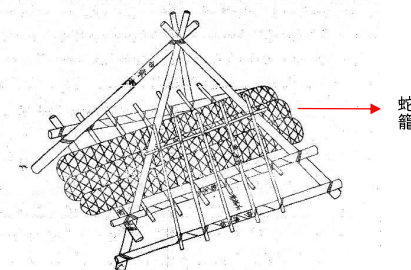
きまつようまじし
去々午年

川越島村（現・中央区国吉町）など天竜川下流域の村々から中泉代官所へ出された元文5年（1740）の願書には、一昨年の午年、満水（洪水）により田畑が土砂に埋もれてしまったことが記されています。

洪水の対策

洪水対策の一つとして、築堤のほか、川の流れが速くなっている部分を安定させたり、堤を保護するための水制・護岸施設が設けられました。例えば、菱牛は、四本の本を方錐に組み、竹で編んだ籠に石を詰めた蛇籠をのせて沈めたもので、水勢を弱め堤を保護しました。

菱牛の図



蛇籠

江戸時代の天竜川と堤を描いた「遠州天竜川分間絵図」にも水制・護岸施設が記されています。



▲高津儀一 著『土木工要録』附録(1冊) 有隣堂 1881
国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/846087> より



いろいろな国や地域の「ことば」の辞典をご紹介します。



「ソルブ語辞典」大学書林 2003年

ドイツの東の国境近く、ザクセン州ブディシンを中心に残る西スラヴ系少数民族ソルブ人の言語の辞典。

「ベルベル語小辞典」明石書店 2023年

モロッコやアルジェリアなどで話されているベルベル語。北アフリカの先住民であるベルベル人の歴史も紹介。

「図説ヒエログリフ事典」創元社 2001年

古代エジプトで使われていた象形文字ヒエログリフ。自分の名前をヒエログリフで書く方法も掲載されています。

「マラーティー語=日本語辞典」大阪大学出版会 2026年

インド西部のマハーラーシュトラ州の公用語であるマラーティー語の辞典。



図書館からのお知らせ

郷土研究講座「講師と読み解く地域の古文書とその背景」

講師：坪井俊三さん(元浜松市史編さん執筆委員)

日時：令和8年11月21日(土)、28日(土)午後2時～午後3時30分
(2回連続講座)

場所：浜松市立中央図書館 2階大会議室

定員：30人(応募多数の場合は抽選)

申込：Webフォーム、往復はがきのいずれかで11月5日(木)まで
にお申込ください。(往復はがきの場合は必着)



詳細はこちらから↑

はままつ図書館だより No.236 (2026年9月25日発行)

浜松市立中央図書館

浜松市中央区松城町214番地の21

☎ 053-456-0234 FAX 053-453-2324

✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

ホームページ <https://www.lib-city-hamamatsu.jp/>



図書館だより
バックナンバー

